（別紙２）

「公立鳥取環境大学第３中期目標（素案）」に関するアンケートの結果等及び今後の対応

令和5年8月

担 当 課	子ども家庭部 総合教育推進課
連 絡 先	0857-26-7814

１　アンケート結果を反映した事業の状況

アンケート結果を反映した「公立大学法人公立鳥取環境大学第３期中期目標」案について、８月１０日に開催した新生公立鳥取環境大学運営協議会において確定し、鳥取県議会及び鳥取市議会の９月定例会に議案として提出を予定している。

２　記述意見に対する対応方針

＜設問＞

第３期中期目標（素案）や、公立鳥取環境大学の今後の取組について、ご意見があれば教えてください。

項目	主な意見	対応方針
教育	・環境課題は地球規模で考える必要があり、グローバルな視点を持った人材育成のため英語能力の向上に力を入れて欲しい。	・学生の能力に応じた、より高度な英語教育の提供について盛り込むとともに、学生全体の英語力の底上げも引き続き取り組む。
地域貢献	・鳥取県では社会人が学ぶことのできる機会が少ないので、働きながら学習することを支援するシステムを充実してほしい。	・県民の学び直しや社会的に必要とされる専門人材育成等のニーズに対応した学びの場の提供について盛込済であり、副専攻科目等の教育資源を活用する等取組を進めていく。
入学	・規模が小さいことを最大限に活かす自由な取組を期待する。ここに来れば何でも挑戦できるという校風があれば、大学のブランド力となり、意欲のある学生が集まってくると思う。	・規模の小さな大学ならではの利点を活かした特色ある教育や、優れた研究成果の発信、課題解決力を育む教育について盛込済であり、ブランド力を高め、学生の集まる大学の強みに繋がる教育を進めていく。
	・公立大学として、地元に還元する努力が一層求められる。 ・県内からの入学生を増やすことが必要。現在の県内入学率では、県内就職率を上げるのは難しいと思う。	・県内入学率の数値目標を引き上げる。 特色ある教育や優れた研究成果の発信による大学の魅力向上や、県内高校との連携強化等について盛り込んでおり、県内学生から積極的に選ばれる大学を目指す。
就職	・県内就職を増やすため、入学して就職活動をするまでに、県内企業の魅力を知ってもらうための、地域と密着した	・産学官民と連携した研究の推進や、産業界等と連携した積極的な県内就職先の開拓、学生の県内就職に向けた意識の醸成について盛込済であり、今後も県内定着

	取組が必要だと思う。	に向けた就職支援の充実を図る。
広報	・県内においても大学の知名度が低い。より強力な広報等による知名度アップが必要だと思う。	・特色ある教育や優れた研究成果などの強みや魅力を戦略的に発信し、大学のブランド力を向上させることについて盛込済であり、引き続き広報の強化に取り組んでいく。